

山崎祐亮（三洋化成工業株式会社 活性剤研究部）

農薬製剤用添加剤「トキサノン」シリーズは、当社独自技術により開発されたポリエーテル系非イオン型添加剤です。特長は従来品と比較し①表面張力低下能に優れおり、疎水性表面に対する濡れ性が高い ②低起泡性であり、泡発生問題等が生じにくい ③非イオン型であり、イオン性成分（アニオン、カチオン、両性）と併用することができる。これらの特長より農薬製剤用添加剤、例えば展着剤、浸透剤、親水性向上剤、分散剤などに使用することで大きく性能を向上できます。以下に従来品の農薬製剤用途用添加剤と比較評価結果を報告します。

【評価結果】表1. 各添加剤のHLB(疎水性と親水性のバランス)と表面張力の結果

品名	HLB	表面張力 (mN/m)
トキサノン NP-50	12	30.6
トキサノン NE-40	13	31.5
トキサノン NE-60	14	30.6
従来品① (ホリオキシエチレンニルフェニルエーテル)	13	37.0
従来品② (ジノキチルスルホコハク酸ナトリウム)	18	31.7
従来品③ (ホリオキシエチレンホリオキシフロピレン)	12	48.0

評価①：ペンダント・ドロップ法にて表面張力を測定。測定温度：20℃、濃度：1重量%水溶液

## Introduction of Additives for Agrochemical Formulations, "Toxanon Series"

Yusuke Yamazaki

(SURFACTANTS RESEARCH DEPT., SANYO CHEMICAL INDUSTRIES, LTD.)

New products Toxanon series are nonionic polyether type additives, and have excellent reduction ability of surface tension and low foaming properties, and can be expected to be suitable for various agrochemical formulations. We report the results of comparison between the new products of Toxanon series and conventional surfactants used for agrochemical formulations.

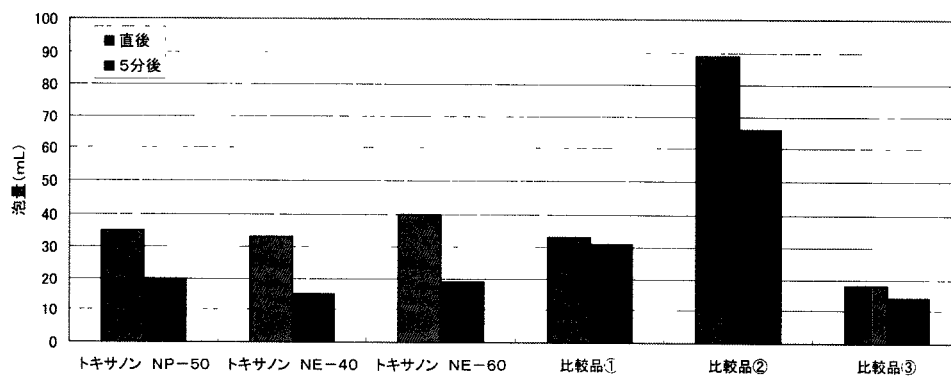


図 1. 各添加剤の泡量（直後、5分後）

評価②：各サンプルの1%水溶液をメスシリンダーに入れて振とうさせ、泡量を測定。測定温度：20℃